

平成26年度事業報告

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

昨今のシルバー人材センターを取り巻く環境は非常に厳しく、長引く景気低迷の影響を受けるなど契約実績の伸び悩みが続いています。

シルバー人材センターの事業運営にあたっては「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、高齢者が地域で働くことを通じて、活力ある高齢社会、地域社会づくりに貢献するとともに、高齢者が健康でいきがいのある生活ができるようにと事業活動を行ってまいりました。

このような中、会員の増員、新規受注の拡大等に取り組んでまいりましたが、ここ数年対応してまいりました適正就業に伴う契約の中止等により、契約金額や就業人員の減少が続いております。平成26年度の事業実績につきましては、契約金額は2億922万1,230円、対前年比3.3%減、約707万円の減額となるなど、県内町村におけるシルバー人材センターの上位にはあるものの4年連続の減額となりました。

以下、実施計画に沿って報告いたします。

1. 会員の入会促進について

- ① 入会説明会を月2回開催するとともに会員の入会に努力した結果、平成26年度の入会者は20名となりました。なお、高齢・病気等が理由による退会者は37名で、平成27年3月末の会員数は301名となりました。
- ② 町広報誌への入会者募集を掲載するとともに、シルバー広報誌を発行しPRに努めました。

2. 安全・適正就業の推進について

- ① 事故防止の徹底について努力しましたが、傷害事故4件、賠償事故1件が発生しました。重篤事故には至りませんでした。引き続き安全就業対策の強化に努めてまいります。
- ② 安全・適正就業委員会を設置し、植木・草刈班対象の安全教育を4月と10月の2回実施するとともに、安全・適正就業委員による就業現場の巡回を行い、安全・適正就業意識の向上に努めました。
- ③ 県内SCにおける重篤事故の発生を受け、緊急安全教育講習会を開催しました。
- ④ 自動車教習所の指導員に講師を依頼し交通安全講習会を開催したところ、86名が参加、高齢者の自動車運転に対する共通認識の向上を図りました。

3. 各種研修会への参加について

- ① 関係機関が行う安全講習会(チェーンソー教育)に参加するとともに技能の習得を図りました。また、県内SCにおける重篤事故の発生に伴い、植木剪定作業時における安全就業研修会にも参加しました。

- ② 平成26年度、植木剪定講習会を開催（参加者14名）し、実習による技術の習得及び後継者の育成に努めました。

4. シルバー事業普及啓発の推進について

- ① ホームページを利用した啓発に努めました。
- ② 平成27年シルバー名入りカレンダーを会員及び各企業に配布しました。
- ③ 事業内容などを掲載した広報誌「シルバーだより」を発行しました。

5. ボランティア活動の推進について

- ① 4月・10月には、鉢形城公園の維持管理のため、会員及び町職員等の協力のもと除草作業を実施し、2回とも、100名を超える参加者となり町の美化運動にも貢献しました。

6. 公平な就業機会の提供について

- ① 会員にシルバー広報誌及びチラシを配布するなどして理解を深めました。
- ② ワークシェアリング・グループ就業を推進するとともに、未就業者を対象とした説明会を開催し、就業機会の向上を図りました。
- ③ 新規事業である有料職業紹介事業を推進いたしましたが、企業等からの依頼も無く、紹介者はありませんでした。